

国見ヶ丘・吉成・南吉成の魅力発信事業



吉成市民センター
ホームページ

【事業概要】

令和4年度で4年目を迎えた本事業は、国見ヶ丘・吉成・南吉成地域の豊富な自然資源と歴史資源について学習し、その魅力を地域に伝える講座です。平成30年度にボランティア団体「くよみ郷土研究会」が発足。整備活動に携わる団体が不在だった仙台青陵中等教育学校の学校林「青陵の森」の整備や、自然観察、「中山街道」「芋沢街道」などの地域資源について学び、活動を通してその魅力を地域へ伝える人材を育成することを目指しています。

【今年度の活動】

今年度は仙台青陵中等教育学校の学校林「青陵の森」で活動しているNPO法人「珀杜（はくと）」と合同の自然観察勉強会を行い、学びを通して連携を深めました。

地域の歴史資源である古道「芋沢街道」学習の他、「中山街道」を根白石側まで街道歩きを行うなど、活動範囲を広げ、歴史資源の学習を積極的に行いました。

また、沖縄県で活動する「八重瀬町ガイドの会」の皆さんとオンラインを活用して

【成果と課題】

研修会を行い、ガイドの手法や具体的な団体の運営方法などを学びました。

今年度は、これまでの学習成果をもとに地域の魅力を「よしなりまちまっぶ」にまとめたり、青陵の森の植物ごとに担当者を決めて観察し、季節の変化や特徴を会員独自の視点で「観察ノート」にまとめたりしました。

一般参加者を募集した「紅葉観察会」や、会員が自主的に毎月発行している会報「くよみ通信」等の情報発信の効果により、今



▲自然観察勉強会
～リースづくりの様子～



▲紅葉観察会

年度は新規会員が7名加入しました。会員全体の学習意欲は高く、活発に活動しています。

一方で、学習成果を地域に発信することに関しては十分とは言えず、学習成果を自発的に様々な方法で伝えていけるよう、発信力を向上していくことが今後の課題です。

【今後の展望や期待】

今後はこれまで学習した成果を地域の人々に「伝え」「知ってもらうこと」の喜びを体感できる機会を多く設けていきたいと考えています。自然観察ガイドボランティアの育成等を行い、学習成果を地域に還元することを目指していきます。



▲青陵の森 定例観察会

吉成市民センター

☎ 279-2033